

京都 広報会議



自治体広報のノウハウを共有する「京都広報会議 in 福知山市」を開催します。市民、近隣自治体公務員、その他関心のある人、どなたでもご参加いただけます。

in 福知山市

日時
2024 **11/16** (土)
13:00-16:30 (開場 12:00)

定員
70人

参加費
1,500円

※宿泊費、デザイン費等

場所 **福知山市総合福祉会館**

(京都府福知山市内記 2 丁目 10 - 18)

司会

合同会社
LOCUS BRIDGE
林 博司



第1部 事例発表「シティプロモーションを考える」

13:05-13:45



福知山市 **宇都宮 萌**

全国広報コンクール 特選・
読売新聞社賞、シティプロモーション
アワード金賞



生駒市 **村田 充弘**

全国広報コンクール入選、グッド
デザイン賞受賞、自治体広
報 DX アワード受賞

第2部 事例発表「広報を変える」

13:45-14:45



王寺町
村田 大地

全国広報コンクール
入選、町村議会広報
全国コンクール入賞



草加市
安高 昌輝

埼玉県広報コンクール
1 席、地方公務員ア
ワード受賞



京丹波町
上田 さくら

京都府コンクール会長
賞、特選、全国広報コ
ンクール総務大臣賞

第3部 事例発表「広報を育てる」

14:50-15:50



島田市
鈴木 克典

全国広報コンクール
内閣総理大臣賞 2
回、計 10 回入選



内子町
兵頭 裕次

全国広報コンクール
内閣総理大臣賞受賞
2 回、計 8 回入選



川西市
池田 次郎

全国広報コンクール
4 部門で入選
地方公務員アワード
受賞

第4部 座談会「市民との協働の在り方 - 広報の視点から」

15:50-16:25 第1部～第3部の登壇者全員によるパネルディスカッション

懇親会 (会費：4,000 円) 市内飲食店にて 17:30～20:00

共催 福知山市 合同会社 LOCUS BRIDGE

申込み方法は裏面

問合せ 合同会社 LOCUS BRIDGE info@locusbridge.com

誰
一
人
取
り
残
さ
な
い



登壇者紹介



合同会社 LOCUS BRIDGE
COO 最高執行責任者共同代表

林 博司

北本市職員として広報5年、シティプロモーション・ふるさと納税を3年担当。「財政状況伝えるマン」で全国広報コンクール広報紙・企画部門入選。シティプロモーション「&green」で北本市を17年ぶりの転入超過にし、全国広報コンクール内閣総理大臣賞受賞。3年連続ふるさと納税埼玉県寄付額1位。市町村アカデミー「広報の効果的実践」講師を担当。



京都府福知山市
秘書広報課

宇都宮 萌

民間企業と公益財団法人を経て、現職。地元ゆかりの武将・明智光秀からの「謀反のお知らせ」、市民参加型企画「福知山の変」など、市民やクリエイターと協働するPR企画を多数手掛ける。全国広報コンクール特選、シティプロモーションアワード金賞、CAMPFIREアワード特別賞、PRアワードブロンズなど受賞。公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会認定PRプランナー。



奈良県生駒市
広報広聴課

村田 充弘

広報・シティプロモーション担当12年目。広報紙や動画の制作、PRサイト・SNSの運営、住民と協働した情報発信など多岐にわたる広報業務に携わる。市民PRチーム「いこまち宣伝部」がグッドデザイン賞を、PRサイト「グッドサイクルいこま」が自治体広報DXアワードを受賞。シティプロモーションの成果の可視化など効果測定にも力を入れる。2007年新卒入庁。



奈良県王寺町
議会事務局

村田 大地

2016年～2022年広報担当。月2回発行の広報紙リニューアル・内製化、町公式サイト、各種SNS立ち上げ、イベント企画等、町の広報基盤を整備し全国広報コンクール入選。一連の「広報」の取組は住民アンケート施策満足度1位・約90%が広報紙を愛読する結果に。2023年より議会事務局へ出向し、リニューアルした「議会だより」が全国議会広報コンクールにおいて初出場で全国10位。広報改革の事例はマニフェスト大賞で優秀賞となった。



埼玉県草加市
広報課

安高 昌輝

行政情報が伝わっていないことに危機感を覚え、広報課1年目の安高と広報課2年目の西田の2人が中心となって、広報紙フルリニューアルを決意。想いを形にした「特集リノベーションまちづくり」が埼玉県広報コンクール広報紙部門第1席。情熱や実績が認められ、デザイン・カラー・発行回数・紙質を変更する広報紙フルリニューアルを達成。2024年地方公務員アワード受賞。



京都府京丹波町
企画情報課

上田 さくら

2020年より自主放送番組の撮影・編集・キャスターを担当し、2022年から広報紙制作を担当。生まれ育った町だからこそ気付く視点を大切にしつつ、行政の伝えたいメッセージを効果的に融合させた広報紙を目指して日々奮闘中。これまでに、京都府広報コンクールで会長賞（2022年）、特選（2023年）、全国広報コンクールで総務大臣賞（2024年）を受賞。



元・静岡県島田市
広報プロモーション課

鈴木 克典

2006年から約19年間、広報紙発行業務を担当。全国広報コンクールで内閣総理大臣賞を2回受賞。他にも広報紙の部では、特選3回を含めて入選を10回、読売新聞社賞を3回受賞。「子どもの貧困」「終末期医療」「きょうだい児」など、取材対象者との深い信頼関係に基づく特集を手がける。PR TIMES プレスリリースエバンジェリスト。現・合同会社 LOCUS BRIDGE CDO 最高デザイン責任者。



愛媛県内子町
町並・地域振興課

兵頭 裕次

2013年～2022年の10年間、総務課広報広聴係で『広報うちこ』の制作を担当。県広報コンクールで10年連続特選、全国では8年連続入選（内閣総理大臣賞2回、総務大臣賞2回、読売新聞社賞1回、入選1席3回など）。「ふるさとの香りがする広報紙」を守り続けるため、住民主体の紙面づくりに奔走。現在は各地で講演するほか、広報担当時代の仲間とともに自治体広報LABを立ち上げ、そのノウハウを多くの現役担当者に伝える。



兵庫県川西市
市制70周年記念
事業事務局

池田 次郎

2009年、川西市役所入庁と同時に広報課へ配属。7年間の在任中に県広報コンクールで6年連続広報紙部門特選、写真部門では3年連続特選を受賞。全国では、広報紙、組写真、企画、映像部門で、読売新聞社賞などを受賞。異動後は、NOMAや日本広報協会、地方自治体などのセミナーに登壇するほか、撮影とデザインのYouTubeチャンネル「Photo & Design」で映像制作を続ける。2024年地方公務員アワード受賞。

申込み(締切:11月14日(木))

参加を希望する方は右記QRコードからお申し込みください。

